

乙黒耕地で米作りイベント「米人(こめびと)になろう！プロジェクト」開催！

小曾木地区で有機農業を行う若手の農家を中心となって、米作り体験イベント「米人(こめびと)になろう！プロジェクト」を立ち上げ、6月10日(土)に、乙黒耕地にてその初回体験会が行われました。



このプロジェクトは、「繁昌農園」の繁昌知洋さん、「ララファームテーブル」の奥蘭和子さん、「とのわファーム」の清水雅大さんらが、田んぼ周辺の地主さんや、ベテラン農家さん、乙黒耕地水利組合の協力を得て、企画されました。

この体験イベントは、6月～12月までの期間で全5回行われ、田植えから稲刈り、はざがけ、脱穀などを行い、最終回の12月には、収穫祭やしめ縄づくりまでを、参加者全員で主体的に行う内容になっています。

また、乙黒耕地の豊かな自然に生きる昆虫や魚などの生き物観察会も行うため、お子様連れでも楽しめる企画が盛りだくさんです。

6月10日(土)に行われた初回には、5歳のお子様から60代のご夫婦まで、20名近くの参加者が、代掻きや田植えを行いました。参加者全員が初体験！先輩農家さんのアドバイスをもらいながら、泥まみれになりながらも楽しそうな歓声が響いていました！

※2024年度も開催予定です。詳細が決まり次第、繁昌農園のホームページでお知らせします。

<https://hanjo-farm.com>



■若手農家を作る「岩蔵野菜」

小曾木地区・岩蔵温泉周辺で農業を行う奥蘭さん、清水さん、繁昌さんらの若手有機農家の皆さんは、青梅地域由来の「のらぼう菜」や、江戸東京野菜など、昔から東京地方で作られてきた野菜を、地域資源を活かした農法で作っています。

※岩蔵 CSA

<https://iwakura-experience.tokyo/vegetable/csa/>



■空き家を探しています！

清水雅大さんは、「私は、元々、東京の練馬区出身。ここを訪れた時、この人と自然に一目惚れし、ここで農業を始めました。小曾木地区は、東京にありながら、東京とは思えない美しい自然環境が魅力。もっともっと、子どもたちや都心の人々がここを訪れて、ココロとカラダをリフレッシュして行ってほしい。」といます。さらに、「そのためにも、ここを訪れる人々の休憩場所やイベントスポットとして、この地域に残る空き家を活用させていただきたい！と思っています。空き家を使ってもよいという方がいたらぜひご連絡いただきたい」と話していました。



(米人プロジェクト事務局)